

【参考資料】昼夜間人口比率、通勤・通学地分析

図表 1 岐阜県市町村の昼夜間人口比率※¹（トップ 10 とワースト 10 を抜粋）

：山県市は岐阜県全 42 市町村中 34 位。

順位	市町村名	昼夜間人口比率	順位	市町村名	昼夜間人口比率
1	美濃市	105.1	33	七宗町	88.1
2	富加町	104.9	34	山県市	87.6
3	大垣市	103.5	35	羽島市	87.4
4	白川村	102.5	36	安八町	87.3
5	関市	102.3	37	池田町	86.0
6	岐阜市	102.2	38	神戸町	85.5
7	高山市	101.1	39	瑞穂市	81.9
8	本巣市	100.4	40	北方町	81.4
9	下呂市	99.6	41	大野町	81.2
10	中津川市	98.6	42	川辺町	80.4

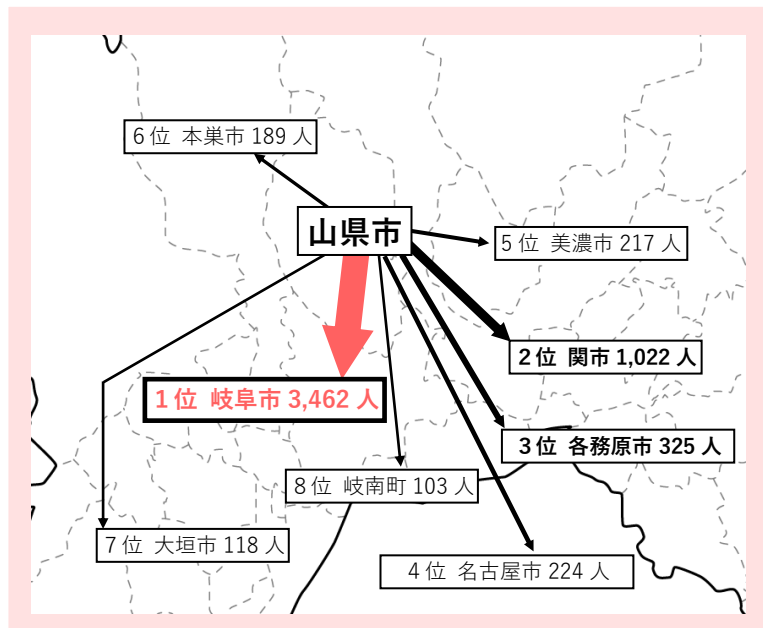
（備考）国勢調査（令和 2 年）より作成。

※¹ 昼夜間人口比率は「昼間人口（従業地・通学地による人口）÷夜間人口（常住地による人口）×100」で算出される。100 を超えると従業・通学人口の流入超過（中心都市型）、100 を下回ると流出超過（ベッドタウン型）となる。その地域の雇用吸収力と学生を呼び込む力の目安となる指標。

図表 2 山県市が常住地の 15 歳以上就業者中、就業者が多い他市町

（調査期間中に山県市からの就業者が 100 人以上の市町のみ抜粋）

：岐阜市が他を引き離して多く（3,462 人）、関市（1,022 人）、各務原市（325 人がそれに続く）。県外（名古屋市、224 人）も 4 位にランクイン。



（備考）国勢調査(令和 2 年)より作成。なお山県市の 15 歳以上就業者は全体で 12,912 人。